

## 会議・イベントにおけるカーボン・オフセットの取組のための手引き

- ・会議・イベント等のカーボン・オフセットは、市民、企業、NPO/NGO、地方公共団体、政府等が比較的容易に取り組むことができるが、多くのステークホルダーが参加することから、温室効果ガス排出量の削減努力や算定及び情報提供など適切なカーボン・オフセットのあり方について一定の考え方を示す必要がある。
- ・そのため、環境省は2010年7月に「会議・イベントにおけるカーボン・オフセット検討会」を立ち上げ、これまで4回開催し、信頼性のある会議・イベントのカーボン・オフセットのあり方を検討した。
- ・検討会を踏まえた上で、「会議・イベントにおけるカーボン・オフセットの取組のための手引き」を2011年4月22日に公表。

### 【手引きのポイント】

(会議・イベントにおける、オフセットのステップごとに、実例を踏まえた具体的な対応方法を提示)

#### ➤GHG算定方法に関する考え方の整理

- ・GHG排出量算定に関する考え方の明示
- ・主要な排出源と算定範囲・合理的な排出量推計の方法の明示

#### ➤削減努力に関する考え方の整理

- ・主催者自身の取組、移動に伴う取組、会場内での取組、宿泊施設内での取組、参加者の取組、委託事業者への促し等、具体的に取りうる対策を例示)

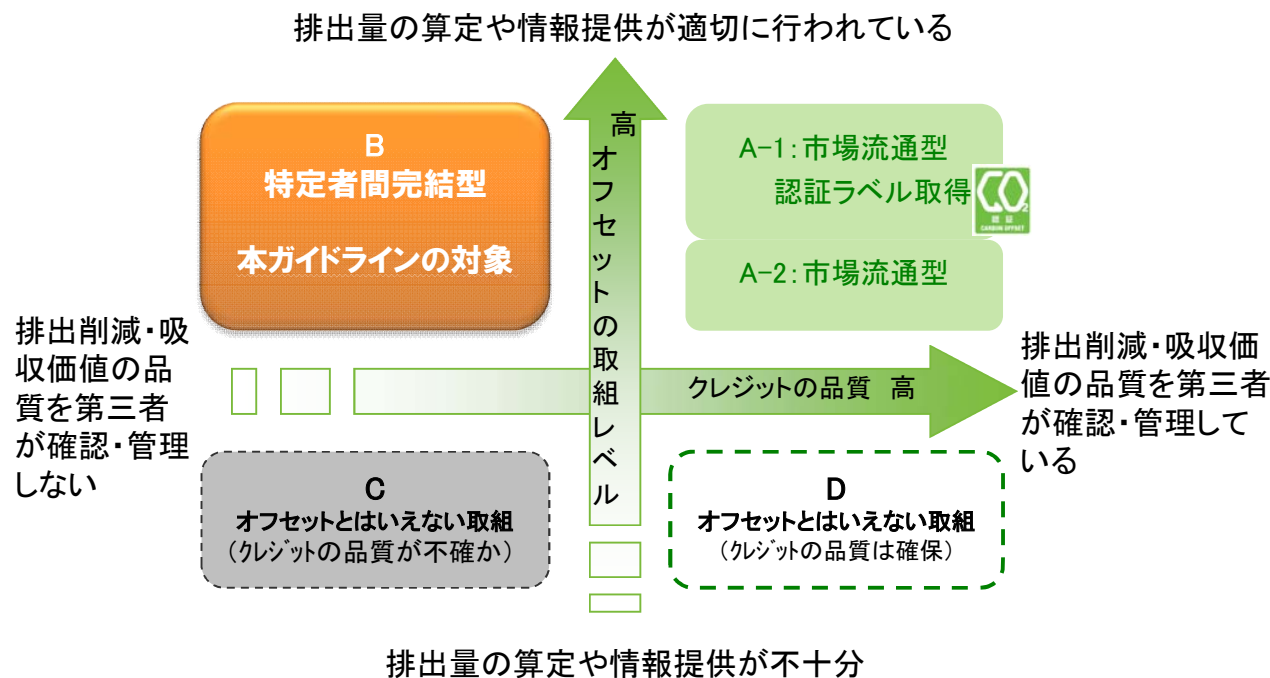
#### ➤情報提供の整理

- ・会議・イベントに合わせた情報提供方法の整理

# 特定者間完結型カーボン・オフセットガイドライン

- 市場を通さずに特定者間のみで排出量の埋め合わせを行うカーボン・オフセット(特定者間完結型)について、そのあり方や信頼性を確保するための仕組み等について検討するため、2010年1月より検討会を開催(全4回)
- ガイドラインの内容についての意見募集を経て、2010年6月25日に「特定者間完結型カーボン・オフセットガイドライン」を公表

## 特定者間完結型カーボン・オフセットの位置づけ



## 【特定者間完結型】

オフセットする側と削減する側との特定の二者間で排出削減・吸収価値を交換するもの

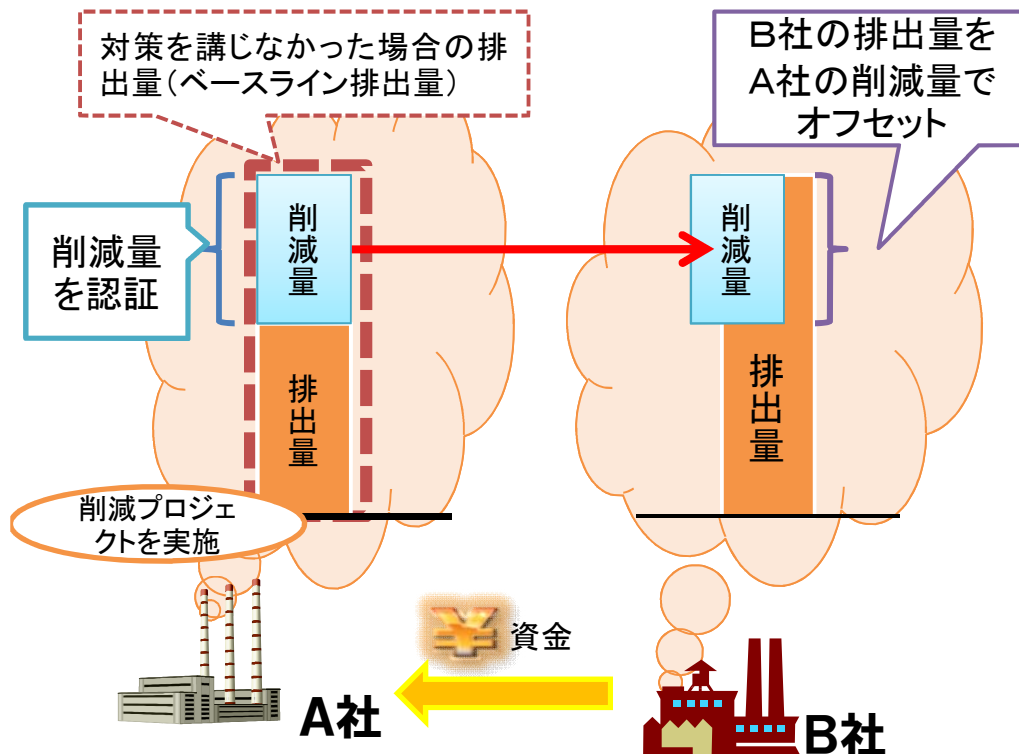
例) 地方自治体が発行している森林吸収証書や特定の企業・団体間で行う排出削減・吸収の取組など

本ガイドラインでは、特定者間完結型において、排出量の把握、削減努力、排出削減・吸収活動の算定等の考え方や望ましい情報提供のあり方等を解説。

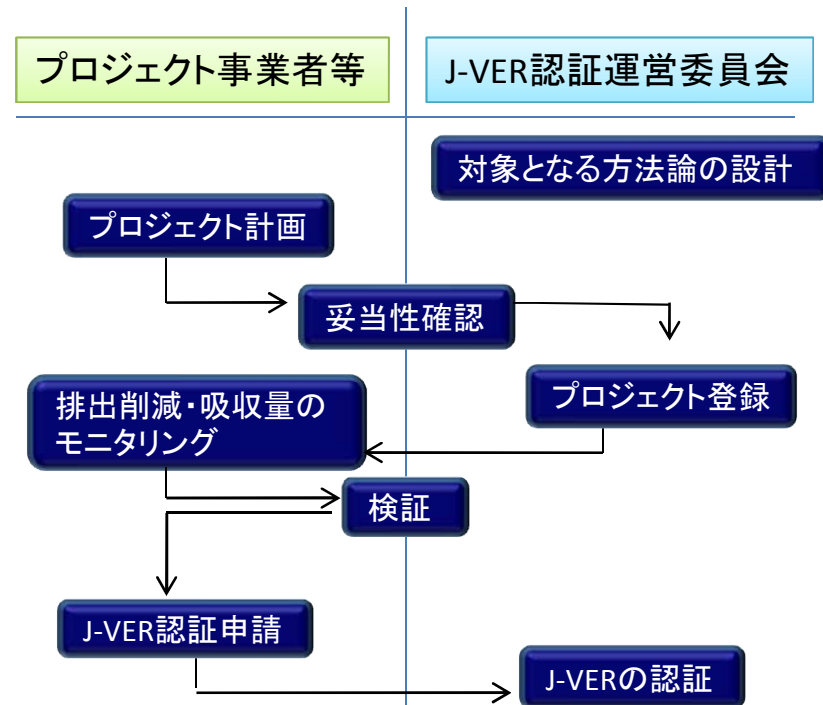
# オフセット・クレジット(J-VER)制度の概要

- 環境省は、カーボン・オフセット(自らの排出量を他の場所の削減量(クレジット等)で埋め合わせて相殺すること。)の仕組みを活用して、国内における排出削減・吸収を一層促進するため、国内で実施されるプロジェクトによる削減・吸収量を、オフセット用クレジット(J-VER)として認証する制度を2008年11月からスタート。  
(「J-VER」=「Japan-Verified emission reduction」)
- 自主的なカーボン・オフセットのほか、地球温暖化対策推進法に基づく排出量算定・報告・公表制度の報告に活用可能。国際規格ISOに準拠した信頼性の高い認証制度として運営。

＜オフセットの仕組み＞



＜J-VER制度のフロー図＞



# オフセット・クレジット(J-VER)制度の対象プロジェクト種類

J-VER制度では、現状では採算性が悪くプロジェクトが実施されない等の理由から本制度で積極的に促進支援すべきプロジェクト種類を特定し、本制度の対象としてリスト(ポジティブリスト)化している。

## ＜排出削減系＞

※平成23年5月25日時点

E001	化石燃料から木質バイオマスへのボイラー燃料代替	E009	情報通信技術を活用した、検針等用車両による燃料消費量削減	E017	ファン、ポンプ類の換装またはインバーター制御、台数制御機器の導入
E002	化石燃料から木質ペレットへのボイラー燃料代替	E010	照明設備の更新	E018	廃棄物由来のバイオガスによる熱および電力供給のための化石燃料代替
E003	木質ペレットストーブの使用	E011	ボイラー装置の更新	E019	ヒートポンプの導入
E004	廃食用油由来バイオディーゼル燃料の車両における利用	E012	空調設備の圧縮機の更新	E020	古紙廃プラ固形燃料(RPF)の製造・利用
E005	下水汚泥由来バイオマス固形燃料による化石燃料代替	E013	フリークーリング及び外気導入による空調の省エネルギー	E021	熱分解による廃棄物由来の油化燃料・ガス化燃料の利用
E006	排熱回収・利用	E014	アイロン装置の更新	E022	廃棄物処理施設における熱回収による廃棄物のエネルギー利用
E007	薪ストーブにおける薪の使用	E015	小水力発電による系統電力代替	E023	デジタルタコグラフの導入によるエコドライブ
E008	情報通信技術を活用した、輸送の効率化による燃料消費量削減	E016	コジェネレーション設備の導入	E024	太陽光発電による系統電力の代替
				L001	低タンパク配合飼料利用による豚の糞尿処理からのN2O排出抑制

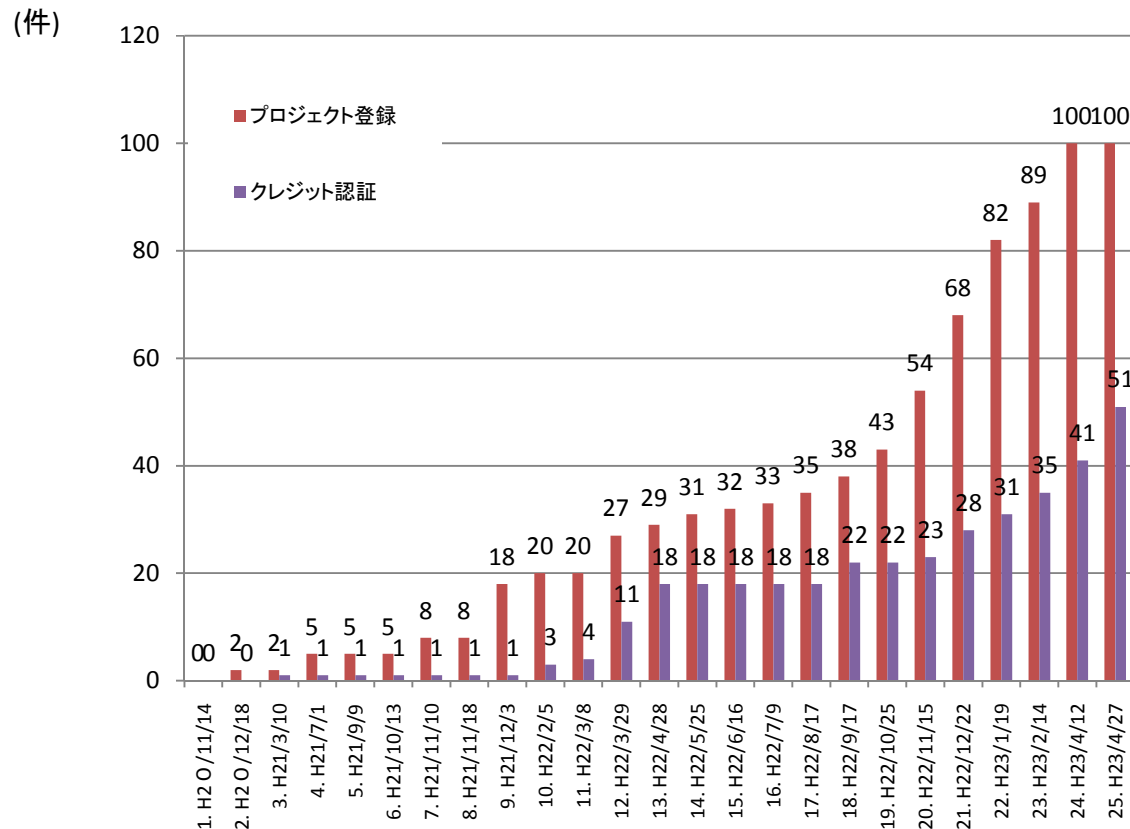
## ＜森林吸収系＞

R001	森林経営活動によるCO2吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)
R002	森林経営活動によるCO2吸収量の増大(持続可能な森林経営促進型プロジェクト)
R003	植林活動によるCO2吸収量の増大

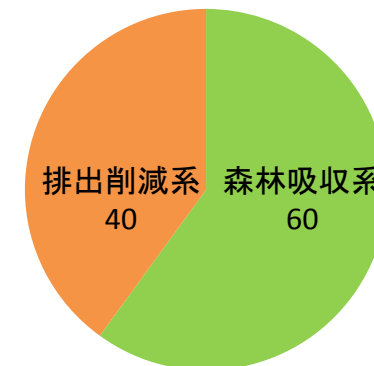
# オフセット・クレジット(J-VER)制度 認証・登録等の状況

- 2011年4月時点で、J-VER制度に登録されているプロジェクトの件数は累計100件。
- このうち51件のプロジェクトについて、オフセット・クレジット(J-VER)の認証が行われている。累計認証クレジット量は102,796t-CO<sub>2</sub>。

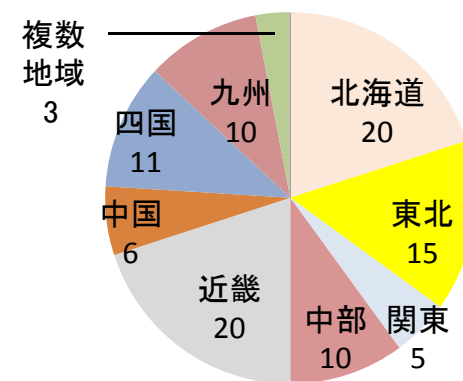
＜プロジェクト登録・クレジット認証件数の推移＞



＜プロジェクト種類別登録プロジェクト数＞



＜地域別登録プロジェクト数＞





# 全国でのJ-VERプロジェクト

## 複数地域【3件】

- 尾瀬戸倉山林の間伐材を利用した温室効果ガス削減プロジェクト
- 近畿・中国地方における前田林業(株)森林吸収源プロジェクト
- 関東・東海・近畿・中国地方における木原造林(株)森林吸収プロジェクト

## 中国【6件】

- 鳥取県造林公社における間伐促進型プロジェクト
- 智頭町 間伐促進プロジェクト
- 鳥取県芦津財産区による森林整備活動を用いた温室効果ガス排出削減事業
- 鳥取県県有林J-VERプロジェクト
- 株式会社無垢B-100BDFによる学校給食配送プロジェクト
- アサヒビール所有林アサヒの森(広島県)での間伐促進によるCO2吸収事業

## 九州【10件】

- 日田市上津江町 間伐推進プロジェクト
- 熊本県県有林による間伐を用いた温室効果ガス吸収事業
- 熊本県小国町間伐推進プロジェクト
- 鹿島社有林整備吸収源プロジェクトその1(宮崎)
- 諸塚村森林炭素吸収量活用プロジェクト
- 住友林業株式会社社有林管理プロジェクトI(宮崎)
- 福岡市営林間伐促進型プロジェクト
- 福岡県株式会社フナガミ廃食用油由来バイオディーゼル燃料活用
- 宮崎県における化石燃料から木質ペレットへの燃料代替プロジェクト
- JA全農長崎大村果汁工場におけるプロジェクト

## 四国【11件】※試行事業を除く

- 高知県仁淀川町池川木材工業有限会社における間伐材由来木質バイオマス残渣の熱利用事業
- 橋原町木質バイオマス地域資源循環事業
- 高知県森林吸収量取引プロジェクト
- 高知県木質資源エネルギー活用事業A(試行事業)
- 高知県木質資源エネルギー活用事業B
- SGHグループ高知・徳島山林長期経営プロジェクト
- 徳島県林業公社社有林森林吸収プロジェクト
- 徳島県那賀郡那賀町における森林吸収源事業
- 東温市学校給食センター-BDF利用プロジェクト
- 久万広域森林組合による久万高原町における間伐促進型森林吸収プロジェクト
- 内子町環境まちづくりと連動した間伐促進型CO2吸収量活用プロジェクト
- 高知県森林吸収量取引プロジェクトB

## 中部【10件】

- 長野県薪ストーブの使用によるJ-VERプロジェクト
- 長野県木質ペレットストーブの使用によるJ-VERプロジェクト
- 岐阜県下呂地域・美輝の里 木質バイオマス燃料を用いた温室効果ガス削減事業
- 岐阜県中津川市苗木財産区による間伐促進型森林吸収プロジェクト
- 新潟市木質ペレット使用によるJ-VERプロジェクト
- 富山市と森林組合による間伐促進型森づくり事業
- 浜松市天竜区春野町堀之内での間伐促進型オフセット事業
- 岐阜県、東白川村森林組合の「FSC認証林」間伐プロジェクト
- 静岡県王子製紙間伐促進プロジェクト
- 岐阜県本巣市・根尾開発間伐促進プロジェクト

○⇒ 排出削減  
●⇒ 森林吸収

## 北海道【20件】

- ニッタ株式会社豊頃町間伐促進プロジェクト
- 十勝地域における昭和工業(株)BDF活用プロジェクト
- 美幌町低炭素な町づくりプロジェクト
- 当別ふれあいバスによる廃食用油由来バイオディーゼル燃料活用プロジェクト
- 足寄町森林バイオマスエネルギー活用事業
- 滝上町ホテル漢谷木質バイオマス活用プロジェクト
- 五味温泉等森林バイオマスエネルギー活動事業
- 下川町役場周辺地域熱供給システムバイオマスエネルギー活用プロジェクト
- 北清企業バイオディーゼル燃料活用プロジェクト
- コープさっぽろCO2削減宅配プロジェクト
- 標津町防風林育成事業
- 南組グループ森林吸収源事業
- 北海道津別町による町有林内における間伐推進を図りながらの森林CO2吸収促進事業
- 上士幌町有林間伐促進プロジェクト
- 北海道広尾町有林における森林吸収プロジェクト
- 北海道王子製紙間伐促進プロジェクト
- 「三井物産の森」北海道 間伐促進吸収プロジェクト
- 士幌町有林間伐促進による森林づくりプロジェクト
- 紋別市有林間伐促進型森づくり事業
- 北海道4町連携による間伐促進型森林づくり事業

## 東北【15件】

- 青森県県有林森林吸収プロジェクト
- 白神山麓・八峰町有林J-VERプロジェクト
- 秋田県県有林J-VERプロジェクト
- 北秋田地域振興事業における上小阿仁村J-VERプロジェクト
- 三田農林株式会社 間伐促進型プロジェクト(岩手県盛岡市)
- 岩手県県有林における森林吸収量取引プロジェクト
- 釜石地方森林組合による集約化施策(森林整備活動)を用いた温室効果ガス吸収事業～釜石市緑のシステム創造事業～
- 森の町内会(間伐サポーター企業群と岩手県岩泉町・葛巻町の連携による間伐促進プロジェクト)
- 宮城県栗駒木材による木質ペレットボイラーでの温室効果ガス排出削減事業
- ペレット燃料普及による栗駒山麓森林資源活用プロジェクト
- 福島県木質ペレットストーブオフセットクレジット活用事業
- 磐城造林(株)社有林における田人町旅人での森林吸収プロジェクト
- 喜多方市森林整備加速化プロジェクト
- 鹿島社有林整備吸収源プロジェクトその2(福島)
- 秋田市: 秋田杉 森林吸収J-VERプロジェクト

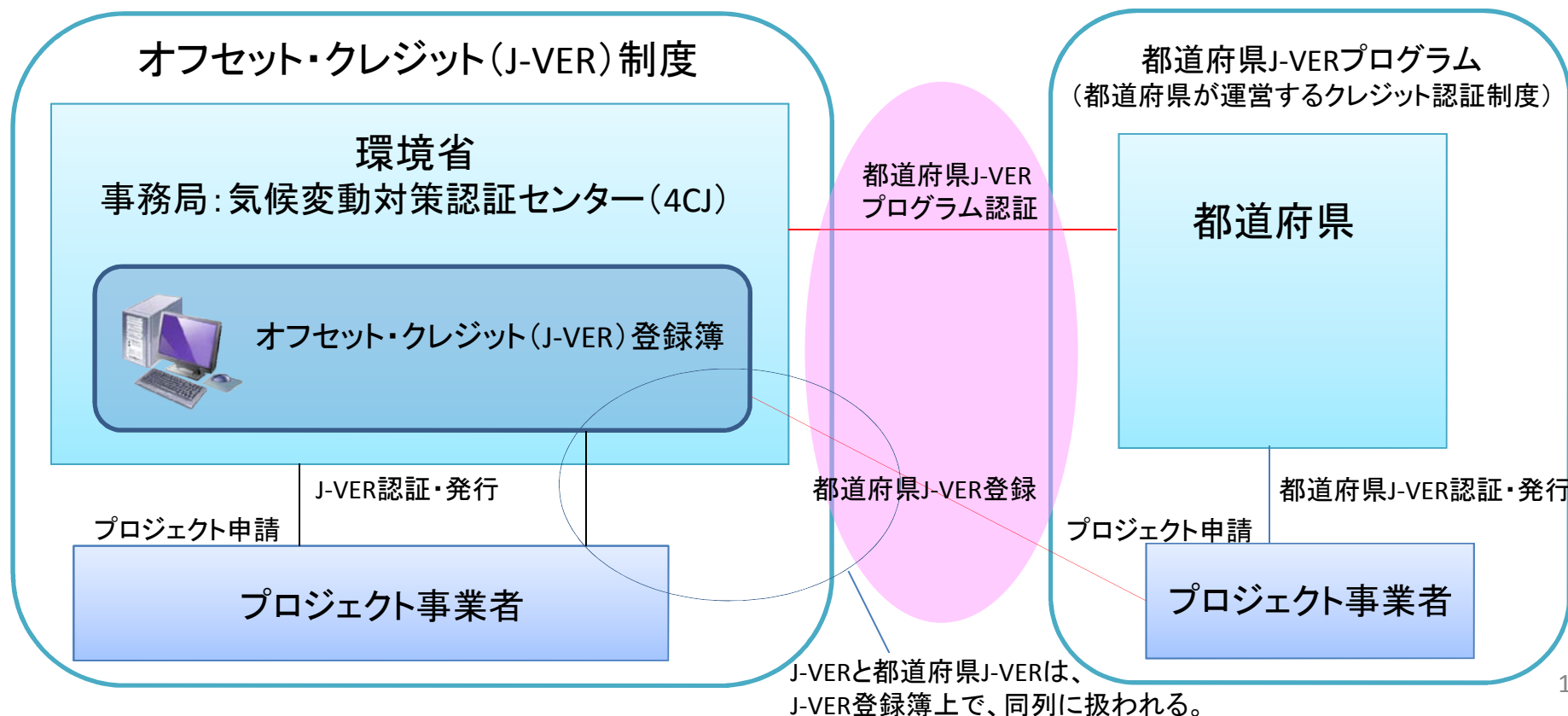
## 関東【5件】

- 鹿島グループ・バイオディーゼル活用プロジェクト
- 東京大学千葉演習林間伐推進プロジェクト
- 神奈川県王子製紙間伐促進プロジェクト
- やまなし県有林活用温暖化対策プロジェクト
- 埼玉県もくねん工場の木質ペレットを活用した化石燃料代替プロジェクト

- ## 近畿【20件】
- 大阪府日本エアリネン株式会社におけるボイラー装置の更新による温室効果ガス削減事業
  - 大阪府伸興樹脂株式会社におけるボイラー装置の更新による温室効果ガス削減事業
  - 京都府鉄道リネンサービス株式会社におけるボイラー装置の更新による温室効果ガス削減事業
  - 京都・びわ湖地域 カシックス・油蔭商事共同によるバイオディーゼル(B100)代替事業
  - 大阪府太陽栄工株式会社におけるボイラー装置の更新及び低温排熱回収・利用技術を利用した温室効果ガス排出削減事業
  - 大阪府株式会社ケーシーシーにおけるボイラー装置の更新による温室効果ガス削減事業
  - 大阪府キンキ寝具株式会社における低温排熱回収・利用技術を利用した温室効果ガス排出削減事業
  - 池田市他におけるバイオディーゼル燃料 100%バスの運行
  - 東河内株山共有林森林計画プロジェクト
  - 三重県大台町宮川流域における持続可能な森林管理プロジェクト
  - 松阪森林吸収プロジェクト
  - 紀州・和歌山における山長林業株式会社森林吸収プロジェクト
  - 東濃植林 広川町 森林管理プロジェクト
  - 三重県宮川上流部宮川森林組合による持続可能な森林経営促進型プロジェクト
  - 「三井物産の森」三重県間伐促進吸収プロジェクト
- ほか

# 都道府県J-VERプログラム認証

- オフセット・クレジット(J-VER)制度では、温室効果ガス排出削減・吸収量をクレジットとして認証・発行する都道府県の制度について、本制度に整合していると認められるものを、J-VER認証委員会が認証し、「都道府県J-VERプログラム」としてプログラム認証リストに掲載する「都道府県J-VERプログラム認証」の仕組みを設けている。
- 都道府県J-VERプログラムより発行されるクレジット(都道府県J-VER)は、J-VERと同列にJ-VER登録簿に登録される。
- 2011年5月時点で、新潟県・高知県の2県が認証されている。



# J-VERを活用したカーボン・オフセットの事例(1) [地方公共団体と企業の連携]

## 長野県と信濃毎日新聞株式会社の取組 「第59回長野県縦断駅伝競走」運営のカーボン・オフセット

大会の開催に伴う事前協議やパンフレット、応援小旗の制作に伴う紙類の印刷準備、そして大会当日の運営者等の移動等による排出量についてカーボン・オフセットを実施。

レースの行方を見守る長野県全域に対してその概念やCO2削減への取り組みに関する広報活動を行なうことにより、県民の認知向上を図る等、普及啓発も目的。

長野県木質ペレットストーブの使用による  
J-VER プロジェクト  
～顔の見えるあたたかいクレジットから森づくり～

クレジット ↓ ↑ 資金

クレジットの  
地産地消

第59回長野県縦断駅伝競走

**オフセット対象範囲**

- ・長野縦断駅伝大会案内に必要な紙類の印刷
- ・応援小旗の制作に伴う紙類の印刷
- ・オフィスのユーティリティ<電力・上水道>
- ・車輛による移動
- ・運営用車輛
- ・先導車輛の往復移動分
- ・先導車輛(白バイ)往復移動分
- ・スタッフ・選手の区間移動用バス 等

**総オフセット量: 20.0 t-CO2**  
(算定排出量:18.109t-CO2)

### <長野県カーボンオフセットシステム>

